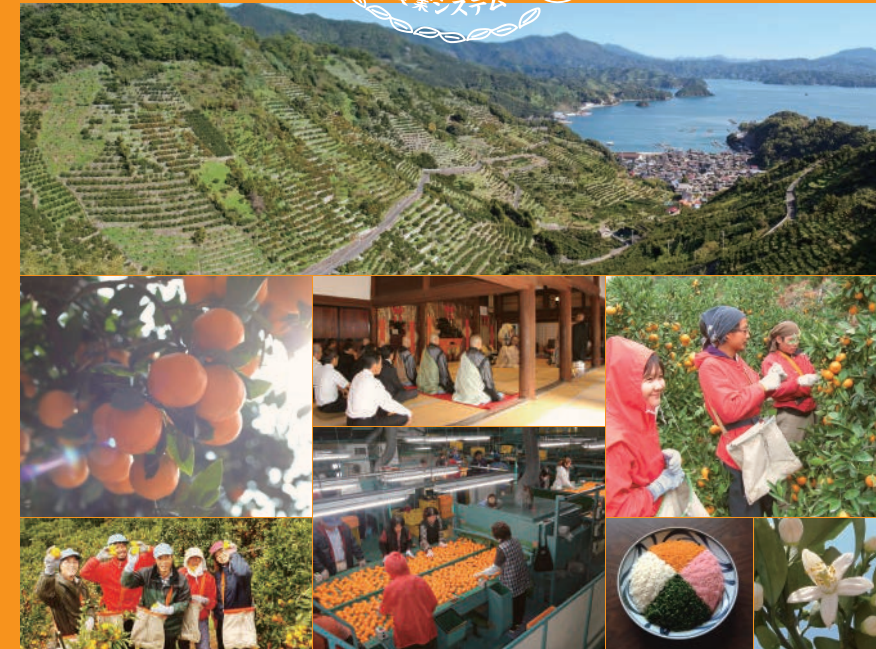


特異な地形条件下での高いサステナビリティを有する

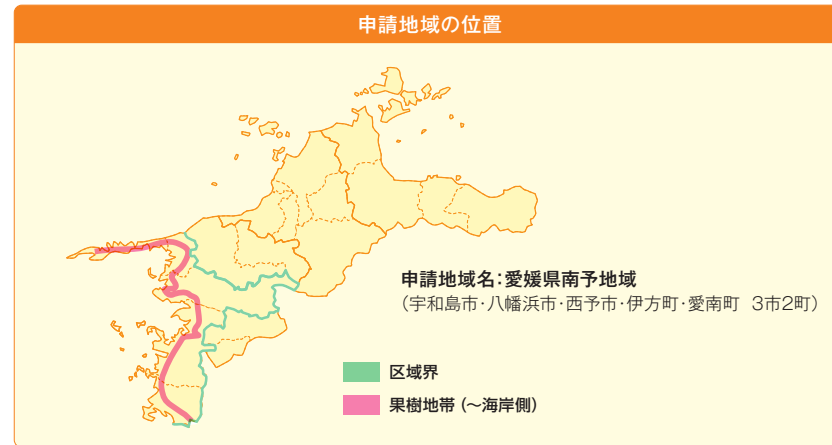
愛媛・南予の 柑橘農業システム



愛媛県南予地域農業遺産推進協議会

南予で生産されている主な柑橘

日南1号	宮川早生	南柑20号	南柑4号
10月 秋を告げる爽やかな酸味の味わい	11月 極早生に甘味をプラス。内袋も薄い	12月 甘さに加え、コクがある	12月 袋が少し厚いが、丈夫で長持ち
紅まどんな	ポンカン	甘平	媛小春
12月 とろけるゼリーの 新食感	1~2月 甘さ引き立つ お手軽カンキツ	2月 超薄皮。 シャキッと歯ざわり	2月 爽やかさと甘さの トッキング
はるみ	宮内伊予柑	はるか	せとか
2~3月 ジューシーな ふちふち食感	2~3月 色よし、味よし、 香りよし	2~3月 酸味のない まろやかな味わい	3月 見た目も味も すべてが超一流
不知火	清見	モロ	タロッコ
(ハウス12月~2月)~4月 個性的外観に 豊富な甘さ	3~4月 甘くてジューシー	3~4月 小粒で超赤色	4~5月 風味のある 赤いオレンジ
甘夏	カラ(南津海)	日向夏	河内晩柑
3~5月 昔ながらの 初夏の味わい	4~5月 甘味も酸味も濃厚な 春のみかん	4~5月 清涼感あふれる 初夏の味	4~7月 まろやかな苦味の 和製グレープフルーツ



愛媛県南予地域農業遺産推進協議会

【協議会メンバー】宇和島市、八幡浜市、西予市、伊方町、愛南町、愛媛県、JAにしうわ、JAひがしうわ、JAえひめ南、南予用土地改良区連合、八幡浜市文化協会、町見郷土館、NPO法人かわうそ復活プロジェクト、宇和島市観光協会、みなと交流館(八幡浜みなと)、西予市観光協会、愛南町観光協会、四国西予ジオパーク推進協議会、NPO法人佐田岬ツーリズム協会、愛南グリーン・ツーリズム推進協議会、宇和島商工会議所、八幡浜商工会議所、保内町商工会、伊方町商工会、西予市商工会、吉田三間商工会、津島町商工会、愛南町商工会、(株)うわしま産業振興公社(さざいや広場)

これまでの活動やシンポジウムの日程は、公式サイト及び SNSからもご確認いただけます。



《公式サイト》
<https://ehime-nougyoisan.jp>

《facebookページ》
facebook.com/ehimenanyo

[事務局] 愛媛県農林水産部農政企画局農政課
〒790-8570 愛媛県松山市一番町四丁目4番地2 TEL:089-912-2514 FAX:089-946-4584



愛媛・南予の柑橘農業システムが 日本農業遺産に認定されました!

「愛媛・南予の柑橘農業システム」は、リアス式海岸の急傾斜に柑橘園地が広がるなどの特異な地形条件を克服するために、長い年月をかけて独自の工夫やノウハウを蓄積し、高品質・多種多様な柑橘農業を実現するとともに、様々な環境変化に的確に対応できる独自の仕組みやストックが存在しています。この重要な農業システムを広く情報発信するとともに、次世代へ継承することを目的として、平成31年2月15日に日本農業遺産の認定を受けました。今後、地産地消の促進や柑橘の消費拡大、景観保全活動など、地域住民参加型による農業遺産の継承につながる「保全計画」の着実な実践のほか、県内外での認知度向上を進めてまいります。

日本農業遺産とは

日本農業遺産は、我が国において重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域(農林水産業システム)を農林水産大臣が認定する制度です。

日本農業遺産認定基準

1. 食料及び生計の保証
2. 農業生物多様性(※1)
3. 地域の伝統的な知識システム
4. 文化、価値観及び社会組織
5. ランドスケープ(※2)及びシースケープ(※3)の特徴
6. 変化に対する回復力
7. 多様な主体の参加
8. 6次産業化の推進

※1 食料及び農業にとって世界的に重要な生物多様性及び遺伝資源が豊富であること ※2 土地の上に農林水産業の営みを展開し、それが呈する一つの地域的まとまり ※3 里海であり、沿岸海域で行われる漁業や養殖業等によって形成されるもの

農業遺産認定に期待される効果

「南予の柑橘農業システム」の価値が認められることで、地域住民の自信と誇りを醸成するとともに、南予が誇る柑橘類の更なるブランド化や観光客誘致を通じた地域経済の活性化、担い手確保などに努めます。また、他の認定地域との交流を通じ、農業遺産の保全や次世代への継承に向けた取組も進めます。





特異な地形条件下での高いサステナビリティ (持続可能性) を有する 「愛媛・南予の柑橘農業システム」

リアス式海岸の柑橘地帯

- ・急傾斜のため過酷な重労働
- ・台風等による塩害リスク
- ・園地の条件(標高・方位)が様々

壮大な景観

1600年代から
築かれてきた
石積みの段々畑

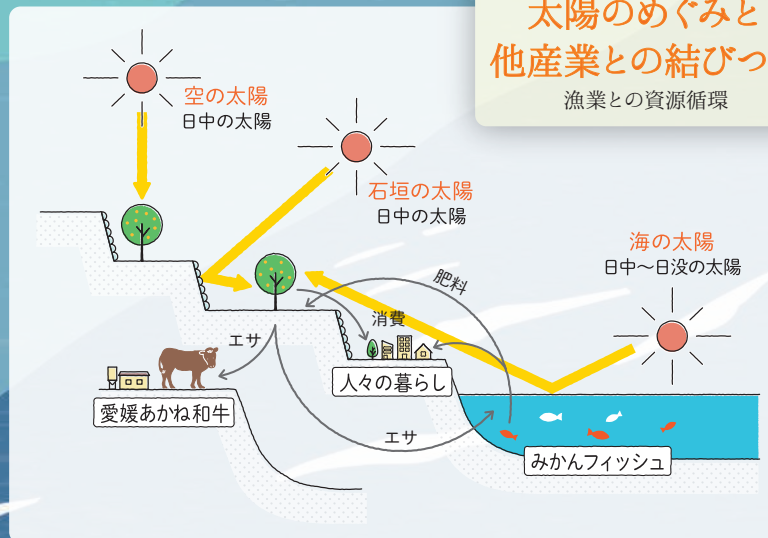
様々な工夫・ノウハウ

- ①石積みの段々畑
急傾斜の労働負担軽減、土壌の流亡も防止、コンパクトな樹形・密植
- ②防風垣
台風による塩害防止、季節に応じた剪定
- ③多様な品種の導入
園地ごとの条件を踏まえた適地適作



太陽のめぐみと 他産業との結びつき

漁業との資源循環



独特の社会基盤・ストック

- ①共選
農家主体の戦略的な産地づくり
- ②果樹同志会
技術を磨く自主的な活動
- ③みかん研究所
農家との協働により品種や技術を開発、普及
- ④地域の強いつながり



農業生物多様性

伝統的な品種の保存
希少な在来種の生息



高いレジリエンス(回復力)

過去の気象災害からの経験

台風に伴う潮風害・塩害、大雪、大寒害等から得た経験

足腰の強い産地を形成

防風垣の整備・生産品種の多様化・大規模な灌水網の整備